

尾張旭市少年センター運営協議会議事要旨

- 1 開催日時
平成25年 8月2日(金)
開会 午後 1時30分
閉会 午後 2時33分
- 2 開催場所
尾張旭市民会館 第3会議室
- 3 出席委員
三浦庄三、田中善廣、渡辺安正、恒川正男、堀部茂樹、大橋 雄、寺尾芳子、立澤志保
菅沼捷子、石原 彰、長谷川裕子、浅見洋子、河合静香、大竹良寿
- 4 欠席委員
山田幹夫
- 5 傍聴者数
なし
- 6 出席した事務局職員
加藤市民生活部長、秋田市民活動課長、黒田所長、濱田補佐、可知
- 7 議題等
(1) 会長及び会長職務代理人の選出について
(2) 平成25年度事業運営について
(3) その他
- 8 会議の要旨

事務局 (黒田所長)	<p>こんにちは。お忙しい中、暑い中お集まりいただきありがとうございます。ただ今から平成25年度尾張旭少年センター運営協議会を開催いたします。</p> <p>私は、少年センター所長の黒田と申します。よろしくお願ひ致します。</p> <p>本会議は「運営協議会傍聴要綱」により公開しておりますが、傍聴者は現在おられません。まだ、お2人ほどお見えになりませんが、欠席は聞いておりません。時間が参りましたので会議を始めたいと思います。それでは、はじめに市民生活部長より挨拶をお願いします。 (13:33)</p>
市民生活部長 (加藤)	<p>加藤でございます。本日は大変暑い中お忙しい中、少年センター運営協議会に、ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>日頃は、皆さまそれぞれの立場から、青少年の健全育成のために、ご尽力をいただいておりますことを厚くお礼申しあげます。この少年センターの業務は4つございます。相談活動、街頭活動、環境浄化活動、広報啓発活動等の4つでございます。</p> <p>相談活動ですが「こころの電話相談」を市民会館の少年センターでおこなっております。フリーダイヤルで名のる必要がございませんので、お子さんご本人や保護者の方は気軽に話をしていただき、心の悩みを聴いてもらい、自信を取り戻してもらえよう努めております。</p> <p>街頭活動では、街頭相談員が少年に対して率先し、日頃から声かけをしております。そのことから、相談員を見かけると子供たちの方から歩み寄り、声をかけてくれる状況もあります。こうした毎日の地道な活動が、結果として健全育成の活動につながっていくと感じております。</p> <p>少年センターのキャッチフレーズですが、「あさひの子 地域みんなで育てましょう」のスローガンをもとに、地域が一丸となって取り組んでいきたい</p>

	<p>と考えております。</p> <p>本日は、本年度の事業運営などが協議事項となっております。委員の皆さんにおきましては、活発なご協議をお願い致しまして簡単ですが、開会のあいさつとさせていただきます。(13:38)</p>
事務局 (黒田所長)	<p>ありがとうございました。本日は委員に就任されて初めての会議でございますので、本協議会につきましては、事務局よりご説明させていただきます。</p>
事務局 (濱田補佐)	<p>少年センターの濱田と申します。先日、今回の資料という形で郵送させていただきました。11ページをご覧ください。「尾張旭市少年センター設置条例」第5条に、少年センターの適切な運営を図るため、尾張旭少年センター運営協議会を置く。」となっております。又第4条に少年センターが行う事業として4項目掲げております。皆様方には各種事業の計画や実施内容について御協議いただき又ご意見をいただくために、運営協議会委員をお願いしております。任期につきましては平成25年6月1日～27年5月31日迄となっておりますのでよろしくお願い致します。(13:40)</p>
事務局 (黒田所長)	<p>それでは第一回の会議ということで、名簿順に自己紹介をお願いしたいと思います。【委員 自己紹介】</p> <p>ありがとうございます。(13:42)</p>
事務局 (黒田所長)	<p>次に事務局の職員の紹介をします。【職員 自己紹介】</p> <p>それでは協議事項に入ります。12ページを見ますと、「尾張旭市少年センター運営規則」第3条第2項に「会長は委員の互選によってこれを定める。」又第4項に「会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指定した委員がその職務を代理する」となっていますのでお願いします。それでは、さっそく会長のご推薦をいただきたい思います。どなたか会長の推薦はございませんか。(13:45)</p>
西中校区支部長 (恒川)	<p>現在、自治連合協議会役員の石原 彰氏を推薦します。</p>
事務局 (黒田所長)	<p>石原 彰様の推薦がありました。ご異議がなければ、拍手にて確認致したいと思います。【拍手で確認】</p> <p>それでは石原 彰様、会長の席へお移りいただきたいと思います。それでは一言挨拶をお願い致します。(13:46)</p>
会長 (石原)	<p>ご指名の石原です。未熟者ですが御指導の方よろしくお願い致します。(13:47)</p>
事務局 (黒田所長)	<p>ありがとうございました。先ほどの手順にもとづき会長より、会長職務代理者の推薦をお願いします。</p>
会長 (石原)	<p>民生児童委員の大橋 雄氏を推薦します。【拍手で確認】</p>
事務局 (黒田所長)	<p>ありがとうございました。会議の組織的な体制がはつきり致しました。以降の取り回しにつきましては石原会長に協議事項をお願いします。(13:48)</p>

会長 (石原)	承知しました。それでは事務局より協議事項(2)について説明をお願いします。
事務局 (濱田補佐)	センターの濱田です。それでは協議事項に入る前に、先に資料の訂正が何箇所かありますのでお願い致します。 【補佐 訂正個所の説明】 (13:52)
所長 (黒田所長)	補足をしたいと思います。「補導」と言いますと、取り締まるという印象を与えがちなので、先程部長の方からもありましたが、「あさひの子地域みんなで育てましょう」ということで、お互い協力し合って、子ども達を健全な方向へと、「補導員」から「協力員」の言葉の変更になりました。 健育の活動にふさわしく互いに協力し合うということで文言が変更になりました。 (13:55)
事務局 (濱田補佐)	【補佐 資料に基づき説明】 (14:10)
会長 (石原)	それでは、ご意見をお願いします。
社会福祉協議会事務局長 (堀部)	8頁の中学生についての説明をお願いします。
事務局 (濱田補佐)	8頁の23年度の中学生のことですが、日に何度も電話をかけてくる状況で12月末までは中学生と名乗っていましたので、中学生としてカウントしましたが、24年1月から20才の女性であることがわかり青年層としてカウントし直しました。全体の中では344件の件数になりました。H24年度に入り相談を受けた者が退職したため相談はなくなりました。 (14:12)
東中校区支部長 (渡辺)	今のことと関連して、それだけ秘密で電話をかけてきたことに対して結果として、聴くだけで332件の中学生が不思議だった。そんなに中学生にかけさせておいてよいのか、秘密保持ということは分かるが、改善に向かわないと聴くことだけでいいのか、連携が必要ではないか。こう言うケースがおこった時に秘密だからと少年センターが受ける形で時間が経過していく、それで良いのかどうか。 (14:13)
事務局 (可知)	私は直接相談を受けていないが、電話相談は匿名が前提なので、ちょっと特異なケースだと思う。ストーカーとまではいかないが、1人の人に日に何回もかけてくる行為は、他の相談や業務あるので、相談員としてどうなるのか不安もあった。相談者は最初、中学生だったが良心が痛んだのか、途中で20才女性です、後で、ある事件があって実は年齢の高い女性でした。機関としては、今まであまり検証されたことがなかったのではと思ったり現場では苦労もありました。検討の余地がなかったかどうか問われれば検討の余地はあったと思います。 (14:14)
東中校区支部長 (渡辺)	途中、他機関との連携の必要があったのではないかと。電話をかけて来たことが結果として前へ出ることで、通報の仕方とか学校とか調整していく必要があったのではないのでしょうか。 (14:15)
事務局	4月以前のことは分からないが、学校生活に一因するようなことがあれば学

(黒田所長)	<p>校の担任の方との懇談会があるのでお話し下さい、と伝えている。教育委員会にも保護者からの意見があれば真摯に答えてもらうよう伝えている。又相談内容を聞き学校に伝え解決に向かうこともありました。</p> <p>相談者はリピーターの方が多く、繰り返しの心の相談が多い。332件のケースもその積み重ねかなと思います。明日の生活に困る相談は他機関を紹介するわけですが、いずれにしてもいろんな相談が多い。相談員が相談者に寄り添うことが大切だと思う。</p> <p>(14:17)</p>
会長 (石原)	<p>疑問点が出そうな資料の箇所は、事前に※などつけるとか説明を入れるなどをしてはどうか。</p>
西中校区支部長 (恒川)	<p>相談内容ですが「学校生活」が占められておるわけですね。これらについては学校へフィールドバックされていますか。</p>
事務局 (黒田所長)	<p>相談者は、全般的な事でかけてみえます。市内3中学校との連絡は学期に1回は会議を行っています。夏休み前には、小中学校生徒指導主事・主任者会もあります。教育委員会にも連絡を入れています。</p> <p>(14:19)</p>
小中学校PTA連絡協議会 (立澤)	<p>相談カードの配布時期についてですが、春は書類が多いので、子どもがなかなか持ってこなかったりします。時期をずらすとか、検討できませんか？</p>
事務局 (濱田補佐)	<p>逆に配布時期は何時頃ならよろしいですか。</p>
小中学校PTA連絡協議会 (立澤)	<p>個人的にはゴールデンウィーク明け（5月末から6月初旬）頃がいいのではないかと思う。</p>
事務局 (黒田所長)	<p>校長先生はどう思われますか。</p>
小中学校生徒指導主 事主任者会 (大竹)	<p>今年は5月にカードを配布し、中学校は7月初旬にもう一度別の物を全校生徒に配布しました。カードを再度コピーし生徒手帳に挟むよう言いました。</p> <p>(14:21)</p>
事務局 (黒田所長)	<p>4月に親子共に悩む事が多いので、少年センターとしては早めに配布した方が良く考えています。勉強の仕方が分からない、友だちにしつこく追われるなど可愛い相談もあります。こちらの事業としては早めにとっております。</p> <p>(14:22)</p>
東中校区支部長 (渡辺)	<p>ここは、相談カードを配る意義を議論する場であって、相談カードは何時配布かを議論する場ではないです。質問ですが、補導の喫煙者数が増えているが5年ほど前はひどくなかったが、支部でパトロールする時に公園とかチェックする必要があるということか。</p> <p>(14:23)</p>
事務局 (黒田所長)	<p>タバコを吸う中学生が増えている実態があります。</p>
小中学校生徒指導主 事主任者会 (大竹)	<p>昨年も、深夜徘徊、喫煙は少なくはなかった。喫煙で相談している家庭もありますが、人数的には、昨年よりは減っている。同じ子がいろんな場所で喫煙している可能性はあります。</p> <p>(14:25)</p>
東中校区支部長 (渡辺)	<p>要望です。3頁地域協力員は、ボランティア・無報酬をわざわざ明記する理由はありますか。私も地域協力員だがもらうつもりはないので大いなる</p>

	疑問です。誰かに伝えたいから書いたのでしょうか、誰でしょうか。
事務局 (濱田補佐)	この資料は運営協議会に出すだけの資料です。 (14:27)
旭中校区支部長 (田中)	有償ボランティアもあるので、無償と書いたのではないか。
市民生活部長 (加藤)	地域協力員390数名に対する敬意を表して、認識を新たにするため書いてあります。
事務局 (黒田所長)	今後、要望意見として検討していきたいと思います。
会長 (石原)	色々な考え方があるので、御検討いただくということでお願いします。 他にはございませんか。それではご承認いただけますか。【拍手で確認】(14:29)
会長 (石原)	承認されました。それでは(7)その他に移ります。ないようですので事務局より何かありましたらお願い致します。
事務局 (黒田所長)	「補導員」という言葉から「協力員」へ変更されましたが、言葉の使い方は検討していきます。 (14:31)
会長 (石原)	それではこれで事務局へバトンタッチしたいと思います。
事務局 (黒田所長)	貴重な御意見、ありがとうございました。色々な私達が気づかないような視点からのご意見 大変参考になりました。ありがとうございました。(14:33)